



定期収集・人頭制を

市環境衛生対策協

タナ上げ？処理形態の改革

市内のくみ取り戸数は約六万二千戸（戸数の七三%）。下水道の普及が遅れているため、バキュ

現行の申込み・従量制から定期収集・人頭制に切り替えるべきだとする意見書をまとめ、田畠市長に提出した。同協議会は

これによって現在の料金トラブルはおやけられ解消できるとしており、専門化および業者委託といった処理形態の改革についても

将来的な問題としてほぼタナ上げにされた。市はこれを受けて現在の車両台数、人員で新体制に移行できるなどの技術的な

検討作業に入る。

52年度から切り替え

し尿くみ取りで意見書提出

料金のトラブルほば解消



郵便番号 970
いわき市平字田町63-7
いわき民報社
振替口座 (郡山) 4028
社 0248-21666
本名浜支社 0248-23560
常磐支局 0248-2380
常磐支局 02466-22903



岡田氏が北欧
旅行水彩画展

新制作会員、日本水彩画会
会員岡田正二氏＝千葉県我孫子市
栄四一〇の「北欧旅行水彩」

23日から「ぎやるじー」
川前支所で、いわき市川前支所
健康相談は二十一日午前九時から正午まで、同支所で。

森羅表は、二十三日から三月一日まで、平大通りの画廊「ぎやるじー」で開かれる。同氏は若松光一郎氏のすすめで、白夜の北欧を描いたもの三十点を展示する。

川前支所で、いわき市川前支所

健康相談は二十一日午前九時から正午まで、同支所で。

光一郎氏のすすめで、白夜の北欧を描いたもの三十点を展示する。

川前支所で、いわき市川前支所

<p

磐城は微動1・34倍に 願書再調整締め切る

21人が「戦列」から去る

県立高校の入学願書再調整は十七日から受け付け、「一千日正」に締め切った。市内十四高校は定員四百八十八人に對し、十三日の設置は五千四百六十五人応募(競争率一・七倍)だったが、二十人減って五千四百四十四人となり、競争率も一・六倍と前年に比べました。志願校の再調整で定員未満の四学科が充足され、結局二校(遠野)三学

科(水産)になり、競争率の最高は学科で平工電気科の一・三五倍、学校は磐城(一・三四倍)

が動かなかった。

志願者三十人の減少は、相

わらず厳しい競争率に県立高校の

受験をあきらめ、私立高校へ、市

外の高校へ、あるいは就職に転向

した人たちで、昨年の七十人より

増えている。

進学校舎は、アリーナが多

いためか、最高の競争率にもかか

わらず五人減っただけ、磐城は

逆に二人増えた。

移動の主なものは、内郷の十二

人、勿来(普通)の十人、この

ほか磐城(畜産)、勿来(電子)、

遠野、四倉(家政)の各八人がそ

れぞれ増えた。

減ったのは、湯本の十八人、勿

来(商業)十六人、勿来(文化)

の各八人がそ

れぞれ増えた。

いわき(普通)の十人、この

ほか磐城(畜産)、勿来(電子)、

遠野、四倉(家政)の各八人がそ

れぞれ増えた。

いわき(普通)の十人、この

ほか磐城(畜産)、勿来(電子)、

